

学校法人 城西大学 国際学術文化振興センター

# JOSAI INTERNATIONAL CENTER for the Promotion of Art and Science (JICPAS)

## Newsletter

Josai University Corporation  
3-26 Kioi-cho, Chiyoda-ku, Tokyo ☎ 03-6238-1300 <http://www.josai.jp/>

No.6

学校法人 城西大学

〒 102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-26

☎ 03-6238-1300

<http://www.josai.jp/>

### 日中国交正常化35周年記念 第6回日中女性学芸会

日時：2007年12月18日(火)～19日(水)  
場所：中国・広東省広州市 華南師範大学国際会議ホール

主催：華南師範大学・城西国際大学・城西大学  
後援：広東省人民対外友好協会・在広州日本国総領事館  
社団法人日中協会・広東経済協力会  
財団法人東芝国際交流財団・株式会社大林組

## 学会活動・シンポジウム

学会活動  
シンポジウム



王国健学長あいさつ



理事長あいさつ

2007年12月18日(火)、19日(水)の両日にわたり、中国広東省広州市にある華南師範大学国際会議ホールにおいて、華南師範大学、城西国際大学、城西大学共同主催、広東省人民対外友好協会・在広州日本国総領事館・社団法人日中協会・広東経済協力会・財団法人東芝国際交流財団・株式会社大林組後援による「日中女性学芸会」が開催されました。



樋口先生 基調講演

開会式では、広東省あけて

の開催ということもあり、また、日中国交正常化35周年記念として正式に開催されたこともあり、会議の開催校である華南師範大学王国健学長、城西国際大学水田宗子学長の挨拶ののち、広東省人民対外友好協会李春燕副会長、広東省友好協会顧問・広東経済協力会村井隆理理事長、在広州日本国総領事館吉田雅治総領事、広州市婦女連合会李建蘭主席らも出席され、ご挨拶をいただきました。

中国側基調講演を華南師範大学政治行政学院王宏維教授、日本側基調講演をNPO法人「高齢社会をよくする女性の会」理事長・東京家政大学名誉教授樋口恵子氏により始まったこの会議は、「格差社会と女性」という今日的テーマで論議がなされ、引き続き行われた



分科会の様子1



分科会の様子2

パネルディスカッション、分科会と、どの会場も多くの参加者がつめかけ、熱気あふれる会議となりました。

当日は、広州テレビ(テレビ局)を始め、多くのメディアが取材し、広州テレビのニュースで会議の様子が放映されました。また、中国の有力メディアである「南方都市报」、



開会式の様子



日中女性学会議記念撮影

「南方日報」も今回の会議を報道。さらに南方日報が報道したニュースが、CCTV.COMやCHINA.COMおよびSOHU.COMなど、中国のネットメディアにも送られ、今回の会議のことが、幅広く報道されました。さらに19日には、中国で発行部数3位を誇る雑誌『家庭』が、水田宗子理事長と樋口恵子氏を取材し、高齢者の問題など関心のあるテーマについて、記者から多くの質問がなされました。

この会議は、学術的にも広報的な面においても非常に意義あるものとなりました。

## 国際交流活動

### 広州市旅遊商貿職業学校と学術包括協定書に調印

日時..2007年12月17日(月)  
場所..中国・広東省広州市 広州市旅遊商貿職業学校



広州市旅遊商貿職業学校校長李燦佳 (Li CanJia) 先生と

2007年12月17日(月)、水田宗子理事長を代表とする訪問団一行は、広州市旅遊商貿職業学校を訪問し、水田宗子理事長と同校長李燦佳 (Li CanJia) 氏により、

両校の学術包括協定書に署名がなされました。同校は中国に1000校以上ある職業教育専門校の中でも数少ない中央政府から重点校指定を受けた観光・ビジネスの専門校です。

欧州各国、シンガポール、ニュージールランドなどの観光専門学校とも提携、実務教育を実践していることで知られており、5,000名を超える学生を有し、広東省を中心に幅広い観光人材を輩出しています。

この学術包括協定書が締結されたことをうけ、研修や留学など、両校学生の幅広い交流が、活発にすすむことでしょう。



調印式の様子



### 華南師範大学と学術交流協定締結

日時..2007年12月18日(火)  
場所..中国・広東省広州市 華南師範大学

2007年12月18日(火)、日中国交正常化35周年記念第6回日中女性学会議を華南師

範大学、城西国際大学、城西大学で共同開催するにあたって、会議に先立ち、華南師範大



華南師範大学より水田理事長へ名誉教授授与式



学王国健校長と学校法人城西大学水田宗子理事長が、学術交流協定提携の調印式を行いました。

また、今回の協定ならびに日中女性学会議共同開催を記念し、華南師範大学より水田宗子理事長に名誉教授の授与式も執り行われました。

※華南師範大学  
華南師範大学は1933年に設立された歴史ある大学で、中国「211プロジェクト」100大学の一つ、且つ広東省の重点師範大学でもあります。同大は中国広州市に位置しており、広東省による指定を受けている総合大学として、人文科学・科学・経済学・経営学・科学技術・芸術・体育教育などの分野について16学部59学科で先端的教育を行っています。

## 城西大学名誉博士記授与式

日時..2008年1月28日(月)  
場所..城西大学坂戸キャンパス 清光ホール



2008年1月28日(月)、城西大学名誉博士の称号が大連高級経理学院の林安西院長に授与されました。林安西院長は、長く大連理工大学の教授として、応用数学のご研究で高い業績を上げてこられました。また、同大を歴任され、この間に大連理工大学は、中国における最重要校にまで発展しました。

本学と大連理工大学とは、2007年5月に学術交流協定を締結し、大連理工大学の学生を対象とした水田三喜男記念文庫設置を始



め、水田宗子奨学金の創設、双方の学生のための短期研修プログラム、共同研究、本学教

員による大連ダボス会議記念講演など、すでに多くの相互交流が行われています。

以上の林安西院長のご功績と本学との交流の成果に感謝して、名誉博士の称号を授与することにしました。当日は坂戸市長、鶴ヶ島副市長、毛呂山副町長、平田化工社長夫人をはじめ多くのご来賓も出席されました。

なお、授与式に引き続き記念講演会がおこなわれ、林安西院長より「中国この十年の大学教育」と題して講演していただきましたが、清光ホールの500名を超える学生や教職員が参加し大盛況でした。



## 城西国際大学 名誉博士記授与式

日時..2008年3月15日(土)  
場所..城西国際大学東金キャンパス・スポーツ文化センター



2008年3月15日(土)、城西国際大学東金キャンパスのスポーツ文化センターにて、2007年度学位記授与式・名誉博士記

授与式も挙行了しました。

今回、米国のカリフォルニア大学リバーサイド校エクステンションの元部長である

James Hartley氏、韓国の建陽大学の金燾洙(キムヒス)総長に、水田宗子理事長より名誉博士号が授与されました。

城西国際大学からの名誉博士号の授与は、2007年3月にメディア学部客員教授の小松左京氏、韓国の東西大学の朴東順総長、台湾の真理大学の葉能哲学長の3名に授与して以来、今回が2度目となります。



金燾洙総長



James Hartley氏

## 城西大学 名誉博士記授与式

日時..2008年3月20日(木)  
場所..城西大学坂戸キャンパス



2008年3月20日(木)、城西大学坂戸キャンパスの総合体育館において、学位記授与式及び名誉博士記授与式が挙行されました。

この度、城西大学から名誉博士号を授与されたのは、韓国の東西大学の張聖萬理事長と台湾の淡江大学の張家宜校長の2名で、城西大学の田中昭学長より名誉博士記が授与されました。

式典途中には、東西大学の林権澤映画芸術学部の先生たちによるお祝いの歌が披露され、式場は深い感動に包まれました。また、

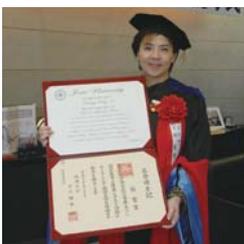


式典後半には東西大学校と淡江大学の校歌も紹介されました。

さらに、この日の夜の名誉博士記授与記念晩餐会において、張聖萬先生から

東西大学校で本学の水田宗子理事長に名誉博士号を授与することが決定したとの紹介がありました。

今回の名誉博士記授与を契機に、両校と城西大学の益々の交流・発展が期待されます。



張家宜校長



張聖萬理事長

# 広東省政治協商会議一行が表敬訪問

日時..2007年12月13日(木)  
場所..東京紀尾井町キャンパス



2007年12月13日(木)、広東省政治協商会議副主席韓大連(Han Dailian)氏を代表とする一行5名が、水田宗子理事長を学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパスにて表敬訪問しました。

和やかな歓談の中で副主席の韓氏は、アメリカにおいて土木工学の博士号を取得し、元華南理工大学の副校長、現在は華南理工大学の教授もしているとのこと、是非一度華南理工大学へも訪問くださいと水田理事長に招待の意を伝えました。



双方の記念品交換の際には、広東省よりすばらしい端溪の硯が贈られ、城西大学からは、写楽の浮世絵復刻版を贈りました。その折、水田理事長より、創立者水田三喜男が、日中国交回復に尽力し、その正式国交回復の前段階として、浮世絵展を北京で開いたことがエピソードとして添えられ、韓副主席は、「大変感激しました。本当にこの贈り物がうれしいです。」と述べながら、記念撮影に臨みました。

※政治協商会議  
政治協商会議は、中国共産党、各民主党派、各団体各界の代表など多彩な顔ぶれで構成される全国統一の組織で、国家の最高権力機関としての職権を代行し、また、全体会議会期中は政策などを提案します。



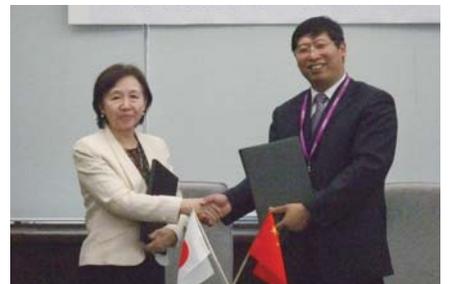
# 天津外国語大学と学術交流協定締結

日時..2007年10月11日(木)  
場所..東京紀尾井町キャンパス



2007年10月11日(木)、学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパスに、天津外国語

大学学長修剛先生が水田宗子理事長を表敬訪問し、その折、両校の学術交流協定書にサイ



深まるよう願っていますとの挨拶がありました。また、修学長からは、語学を学ぶことを通じて何かの学問を学ぶことを目標として

ながなされました。水田理事長から、経済発展を遂げる天津において活発な展開を続けている天津外国語大学との協定を歓迎し、これを機に両校の学生、教員の交流が

いる天津外国語大学にとって、特に城西大学の建学の精神は共感できるものであり、協定を締結できることを大変うれしく思っているとの話がありました。



# 西江大学と学術交流協定締結

日時..2007年9月11日(火)  
場所..東京紀尾井町キャンパス



韓国・ソウルにある西江大学と学校法人城西大学は、2007年9月11日(火)に学術交流協定を締結しました。



韓国全国女子教授連合会会長且つ西江大学で日本学主任教授を務めておられる申惠璟(Hae-Kyong Shin)シンヘギョン教授が、2007年7月26日(木)に東京紀尾井町キャンパスに水田理事長を表敬訪問された折に、是非、学術交流

の協定校としてお願いしたいとの申し入れがあり、このたび合意に到ったものです。

2008年6月に西江大学で行われる韓国全国女子教授連合会における講演会では、水田理事長がキーノートスピーチを務めます。今回のテーマは、アジア太平洋地域における女性の社会参加の比較についてとなっています。

## TOPIC

中国・中国伝媒大学からの  
留学生が来学  
場所…城西国際大学

部の学生が中国インターンシップで伝媒大学を訪問し、交流を深めました。留学生たちはこれから1年間、日本語とともに、日本の生活、文化を学び、さらにはメディアについても学んでいきます。今後は、「日本生活文化デザインプロジェクト」として東京や鴨川、京都での研修も予定しております。

メディア学部における中国伝媒大学からの留学生の受け入れは、2006年度に続き、2年目になります。2007年7月に帰国した伝媒大学からの留学生は、鴨川で開催された



2007年9月下旬に、中国伝媒大学の3年生26名が、メディア学部で勉強するために来日しました。これから1年間、日本語の勉強とメディアについて学びます。また、彼らの来日前の9月初旬には、城西国際大学メディア学

## TOPIC

中国・中国伝媒大学  
学長が来学  
日時…2007年10月26日(金)  
場所…東京紀尾井町キャンパス

北京電影学院とメディア学部による鴨川市アートインスタレーション2007にも参加し、城西国際大学、中国伝媒大学、北京電影学院の学生たちがアートを通じて交流を深めました。

10月5日(金)には、メディア学部の教員、学生、その他の教職員とともに歓迎会を催しました。日中両国の学生が、とても活発に交流をおこない、今後も基礎ゼミやその他の授業で国際的な友好を深め、ともに学んでいきます。

2007年10月26日(金)、中国伝媒大学より、蘇志武(Su Zhi Wu)中国伝媒大学学長を代表とする訪問団一行が、学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパスに水田宗子理事長を表敬訪問されました。

歓迎の挨拶では、水田理事長から、中国の若い世代の人たちに日本の文化や社会についてもっと深く知ってもらい、東アジア文化圏ということを念頭に、次世代交流のために道をつけ、メディア教育の分野でさらに教員、学生間の研究・教育交流を深め、両大学が両国のマスコミやメディアの分野で、相互の文



化や社会を理解し活躍できる人材の育成を進めたいというお話がありました。また学校法人城西大学村井顧問から、中日友好関係の歴史の中で創立者水田三喜男先生が果たされた役割と、今後の両大学間の交流促進の意義を語りました。蘇学長からは、今後の両大学の提携関係の強化と中国伝媒大学南京校でも同様の交流関係を進めたいと述べられました。

歓迎式典後、メディア学部に留学中の中国伝媒大学の学生が、蘇学長と面談し日本での留学生活について報告するとともに、勉学に対する決意を述べました。



## TOPIC

北京電影学院美術学部長  
総監督作品『我的夢  
(My Dream)』特別上映会  
日時…2007年10月23日(火)  
場所…東京紀尾井町キャンパス

2007年10月23日(火)に東京紀尾井町キャンパスで『我的夢(My Dream)』(電



影学院王鴻海美術学部長総監督作品、本年度カンヌ映画祭出品作、第20回東京国際映画祭参加作品)の特別上映会が開催されまし

た。東京キャンパスのハイビジョン設備を使用し、大画面の美しい映像と音で、上映時間110分の劇場公開版を本邦初上映しました。中国障害者芸術集団84名の華麗なダンスパフォーマンスやすばらしい歌や演奏をドキュメンタリータッチで見事に捕らえ大きな感動を観客に与えました。また、エンターテインメントとしても洗練された演技とすばらしいカメラワークで本学の学生だけでなく一般の観客の方々を魅了しました。

映写終了後の質疑応答の時間では、この映画のために王監督はじめ制作スタッフは、1年間この中国障害者芸術団と生活をともにし、彼らの生活の様子や練習風景、障害者の出演者たちがたいへんな努力をして体を鍛えているかなどを記録し続けたお話や、この映画のための衣装や舞台美術の制作のためにいかに情熱的に取り組んできたか、舞台美術監督はじめ多くの人がプロフェッションナリズムを発揮しこの映画をどのようにに作り上げてきたかなど制作過程での貴重なお話をうかがうことができました。

今後、城西国際大学メディア学部では、今後も北京電影学院と協力し中国の優れた映画を紹介していきます。



TOPIC

北京電影学院院長  
東京キャンパスに来学

日時…2007年10月29日(月)  
場所…東京紀尾井町キャンパス

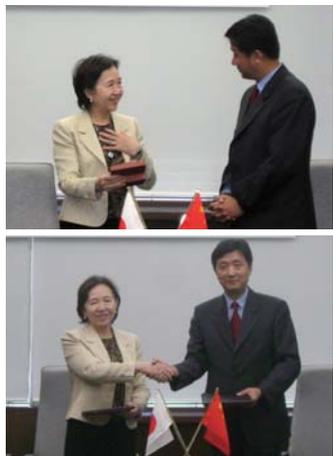
2007年10月29日(月)、北京電影学院より、張会軍北京電影学院院長を代表とする訪問団一行が、学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパスに水田宗子理事長を表敬訪問されました。



北京電影学院とは、城西国際大学メディア学部と同学院美術学部の間で2007年7月に学術・研究・教育交流協定に調印し、今回学術・研究・教育交流協定を締結するに至りました。同年7月には電影学院美術学部とメディア学部が共同開催した「鴨川市インスタレーションアート・フェスティバル2007」で同学院の教員・学生19名が来日し、メディア学部学生が協力して作品を設置することもに協同運営をし、成功裏に終了することができました。また、9月にはメディア学部の2・3年生25名が電影学院を訪問し、VFX(特殊撮影技術)の特別授業を受けるなどメディア学部と交流を深めました。

歓迎の挨拶では、水田理事長から、映像文化を通して両国の若い世代の人たちが相互の文化を理解することの重要性と、韓国を含めた東アジア文化圏ということなどを念頭に、映像教育の分野でさらに教員、学生間の学

術・研究・教育交流を深め、若い人材の育成を進めたいというお話がありました。これに対して張院長からは、「鴨川市インスタレーションアート・フェスティバル2007」を共同開催できたことの意義と、本学との交流を通して中日両国の映像にかかわる人材育成を強化し、今回の同学院王学部長総監督作品「我的夢(My Dream)」特別上映会のような映像分野での更なる交流促進を進めたいと述べられました。



プログラム支援

多様化社会と女性キャリア支援プログラム21

—2007年度活動報告—

多様化社会の中で、多様性を活かす新たな社会の構築や多様な価値観に対応できる人材が求められる現在、「多様化社会と女性キャリア支援プログラム21」では、女性の多様な選択を可能にする教育・学習の充実と、キャリア教育による女性の自己確立を目指し、女性の自立と社会参加を支援することで多様化社会に対応できる人材育成を目的としています。

講演会  
「21世紀社会と男女共同社会参画について」

～人生100年チャレンジいきいき人生～

プログラム支援

日時…2007年6月16日(土) 15時～16時30分  
場所…城西大学坂戸キャンパス 清光ホール  
講師…樋口 恵子氏(東京家政大学名誉教授、NPO法人「高齢社会をよくする女性の会」理事長)  
NPO法人「高齢社会をよくする女性の会」理事長

2007年6月16日(土)の15時より、東京家政大学名誉教授、NPO法人「高齢社会をよくする女性の会」理事長である樋口恵子氏をお呼びして、城西大学清光ホールにて講

演会を開催しました。講演会のテーマは、「21世紀社会と男女共同社会参画について～人生100年チャレンジいきいき人生～」で、樋口氏は21世紀にお



樋口恵子氏

ける男女の生き方について、ユーモアあふれる語り口で会場を魅了されていました。

まず、樋口氏は福祉国家の先進国と比べた日本の高齢社会の特徴を述べられ、その結果抱えた年金

問題・介護問題を挙げられました。その一方で世界に誇れる日本の4つの保険制度(介護・社会・医療・年金)についても挙げられました。日本の社会構造について男女間の役割分担が残存しており、家族依存が高い社旗であるとし、すでに挙げた問題に直面すると女性が弱者になりやすい現状を述べられました。今後総人口の4割を65歳以上が占め、更にはその中で6割が女性になるという統計を紹介し、日本の高齢社会において女性の存在が大きくなること、女性を救わないと日本に明るい未来はないとして、男女共同参画のような平等な社会を構築するべきとしました。



## — その他の活動 —

講演会

### 「何のために働くのか」

日時：2007年7月4日(水) 13時20分～14時50分  
 場所：城西大学坂戸キャンパス 経営学部棟1Fプレゼンテーションルーム  
 講師：北条 玲子氏(上越教育大学 学校教育学部教授)

プログラム  
支援

薬学部女子学生就職支援セミナー

### 「薬学部の女性から聞く仕事とキャリア」

日時：2007年7月7日(土) 16時30分～17時50分  
 場所：城西大学坂戸キャンパス 16号館103教室  
 講師：戸谷 仁子氏(埼玉医科大学総合医療センター、薬剤師)  
 小島 しのぶ氏(株式会社フォーラル、管理栄養士)

プログラム  
支援

JMW(経営学部女子学生連合会)主催

### 第2回 キャリア・サポートトークショー

日時：2007年9月25日(火)  
 場所：城西大学坂戸キャンパス 経営学部棟プレゼンテーションルーム  
 講師：伊藤 順子氏(株式会社ジャスマック・エージェンシー)

プログラム  
支援

講演会

### 「履歴書作成におけるペン字指導」

日時：2007年10月25日(木)  
 場所：城西大学坂戸キャンパス 経営学部棟402号室  
 講師：林 洋子氏(書家)

プログラム  
支援

薬学部・薬学部男女協同参画懇談会主催

### 「女性(男性)の生き方セミナー」

日時：2007年12月6日(木) 9時30分～12時40分  
 場所：城西大学坂戸キャンパス 清光ホール  
 司会：橋本 フミ恵(城西大学薬学部教授)  
 講師：阿部 綾乃(埼玉医科大学総合医療センター 薬剤部 薬剤師)  
 秋山 隆(服部栄養専門学校 職業財団)  
 後援：女性人材育成センター

プログラム  
支援

教育プログラム開発委員会主催講演会

### 「女性の起業について」

日時：2007年12月7日(金) 13時30分～15時00分  
 場所：城西大学坂戸キャンパス 経営学部棟1Fプレゼンテーションルーム  
 講師：河野 律子(中小企業診断士)

プログラム  
支援

## 出版活動

出版活動

### U.S.-Japan Women's Journal 第32号・第33号が発刊

U.S.-Japan Women's Journal の第32号と第33号が発刊されました。

第32号は2007年12月に刊行され、「詩人・伊藤比呂美」の特集号となっております。

第33号は2008年2月に刊行され、平安から近代の文学をテーマに論考4点、小説の翻訳1点を掲載しております。

詳しくは U.S.-Japan Women's Journal は日米間を中心に他地域を加えたグローバルな視点



●周辺図



アクセス インフォメーション

- 地下鉄有楽町線 麹町駅1番出口より徒歩3分
- 地下鉄南北線 永田町駅9番出口より徒歩5分
- 地下鉄丸の内線・銀座線 赤坂見附駅 弁慶口より徒歩8分
- JR中央線・総武線 四谷駅より徒歩10分



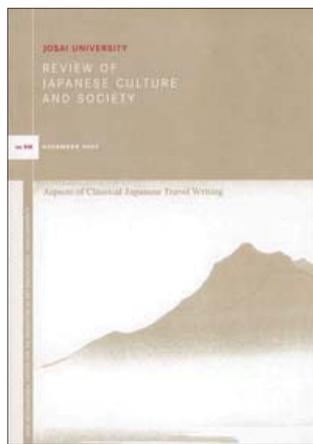
に立ったジェンダー研究の学術交流、情報交換を目的に、女性、男性、家族、労働、社会問題、文化研究等についての論考を掲載する英文誌です。城西大学国際学術文化振興センター (JICPAS) が年に2冊刊行しております。バックナンバー、購入方法などの詳細については Web サイト (<http://www.josai.jp/jicpas/usjwj/index.html>) をご覧ください。

出版活動

## Review of Japanese Culture and Society 第19号が刊行

今号は2006年7月に本学の東京紀尾井町キャンパスを会場として開催したA.I.J.S (アメリカ日本文学会) を踏まえ「表象文化と旅・過去・現在・未来」を特集テーマに、同学会での発表をもとにした論考、テーマに関わる日本語論文の英語翻訳版などを掲載しております。

Review of Japanese Culture and Society は日本人と日本文化をテーマとする英文誌で、城西大学国際学術文化振興センター (JICPAS) より年に1冊刊行しております。バックナンバー、購入方法などの詳細につ



については Web サイト (<http://www.josai.jp/jicpas/usjwj/index.html>) をご覧ください。

学校法人 城西大学



〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-26 TEL.03 (6238) 1300

学校法人 城西大学 <http://www.josai.jp/>

城西大学 <http://www.josai.ac.jp/> 城西国際大学 <http://www.jiu.ac.jp/>

学校法人 城西大学 国際学術文化振興センター

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-26  
TEL 03 (6238) 1300 FAX 03 (6238) 1299